

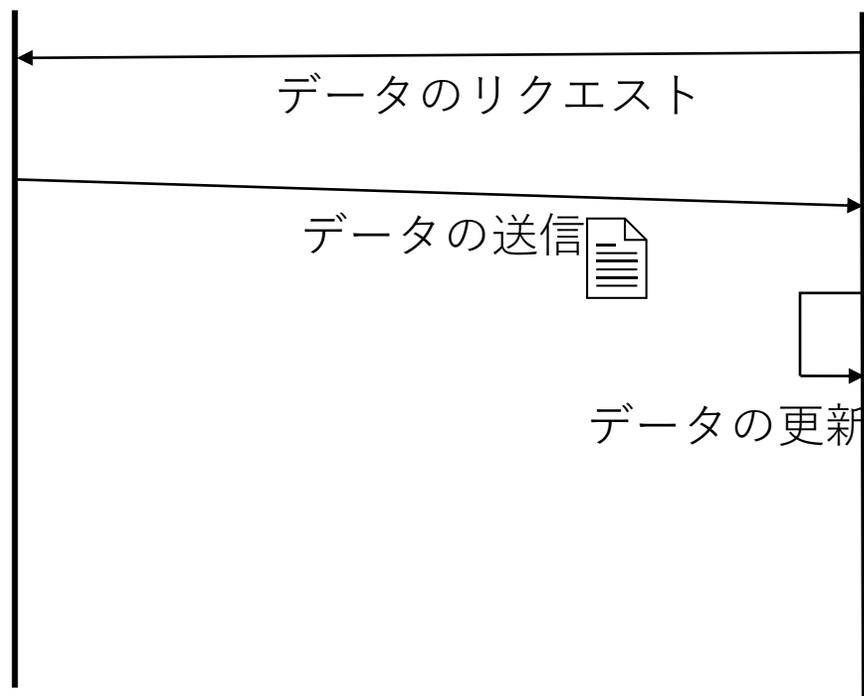
AED製販システムとのAPI連携イメージ



AED製販システムサーバ



AEDマップサーバ



データの形式：JSON



例：

```
{
  "result": "OK"
  "aed_data": [
    {
      "aed_master_name": "AED-3100"
      "aed_serial_number": "00065"
      "aed_status": "正常"
      "aed_pad_limit": "2026/4"
      "battery_remain": "70%"
    },
    {
      "aed_master_name": "AED-3100"
      "aed_serial_number": "00100"
      "aed_status": "正常"
      "aed_pad_limit": "2027/6"
      "battery_remain": "50%"
    }
  ], ...
}
```

《サンプルデータ》

- ・ AED型名
- ・ 製造番号
- ・ AED状態
- ・ パッド期限
- ・ バッテリ残量

ほか、設置場所名なども提供可能

正式な連携項目と稼働後のデータ更新タイミングは、契約締結後の協議とします。